

ケース・ブック

2021-2024

2022年補遺版

変更と追加の要約

2022 年のケース・ブック補遺は、1 つの新しいケースであるケース 147 で構成されている。これは、2021 年の World Sailing 年次会議中に取られたアクションに基づいている。新しいケースは、Web サイトのケース・ブックに追加された。

ケース 147

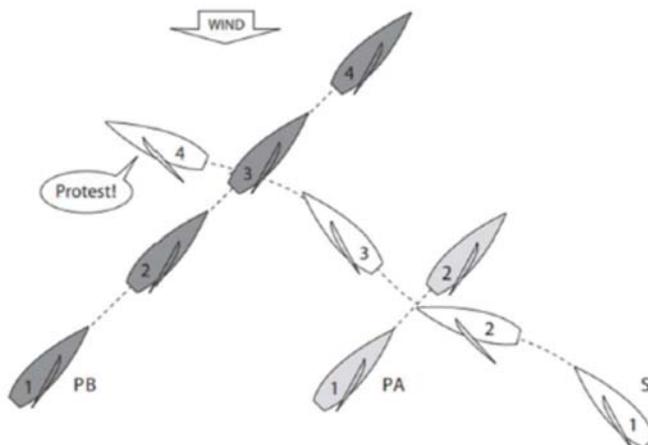
規則 10 反対タックの場合

規則 16 コース変更

規則 43.1(b) 免罪

航路権艇がコースを変更する場合、規則 16.1 に基づいて、航路権艇は避けている必要がある艇に対して避けているためのルームを与える義務が始まる。航路権艇は、追加のコース変更をすることによってそのルームを与えることができる。航路権艇がその追加のコース変更を行っている間に、避けている必要がある艇が 2 章 A 節の規則に不可避免的に違反した場合、避けている必要がある艇は規則 43.1(b)により免除される。

【事実およびプロテスト委員会の判決】



位置 1 において、3 艇の J/105 である S、PA、PB がアップ・ウィンドでレースをしており、S はスターボード・タック、PA と PB はポート・タックであった。位置 2 において、PA との接触を避けるために S がベア・アウェイした。PA はペナルティーを履行した。

S が PA を避けてラフしたとき、S は PB(位置 3)との衝突コースになった。艇が近接しているため、PB はタックまたはコースを維持することによって S を避けることができなかった。S は接触を避けるためにすぐにベア・アウェイし、「プロテスト！」と声かけた。

【裁決】

位置 2 において、S は PB を回避するために行動を起こす必要なしに、帆走中のコースを帆走し続けることができた。したがって、PB は避けていた(定義「避けている」参照)。位置 3 において、S がラフした後、両艇は衝突コースになり。PB はタックまたはコースを維持することによりSを避けることができなかった。S は PB との接触を回避するためにコースを変更する必要があった。

航路権艇 S が位置 2 と 3 の間でコース変更したとき、規則 16.1 は、S が PB に避けているためのルームを与えることを求めている。S は、迅速にベア・アウェイして PB を回避し、PB にルームを与えるという S の義務を果たした。

S は PB を回避するためにコースを変更する必要があったため、PB は規則 10 に違反している。ただし、PB は規則 16.1 に基づいて得る資格があるルームを帆走していたため、規則 43.1(b)によりその違反を免除される。PB の上告を支持し、PB の失格を取り消す。

ケース 146 も参照のこと

USSA 2019/120